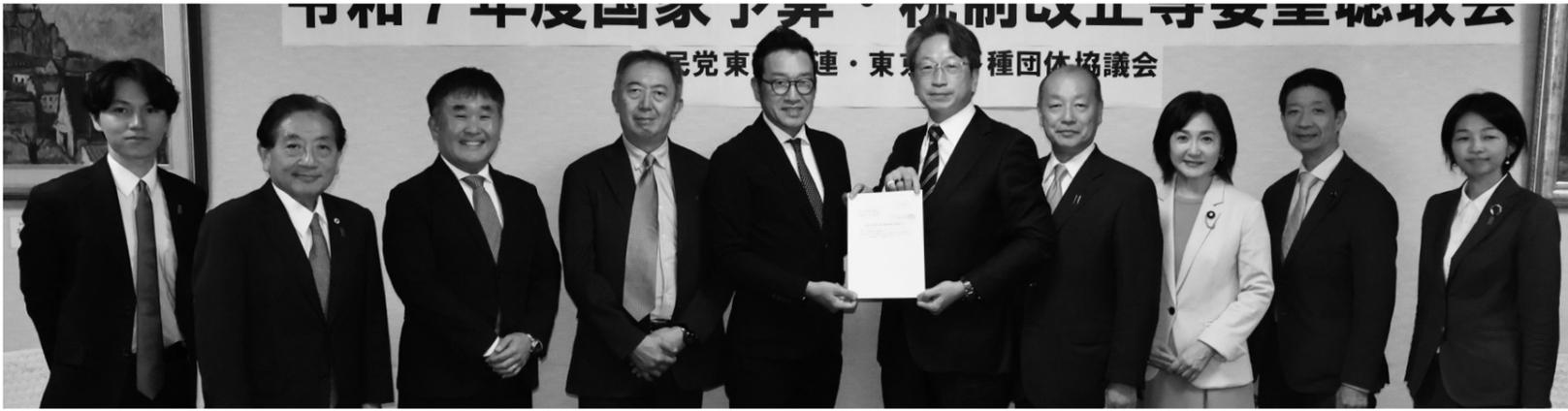


実効性のある評価試験へ見直しを！

外国人雇用で新たな要望項目も要請

東京ビル政連は11月1日、永田町の自由民主党本部で開催された東京都支部連合会の「令和7年度国家予算・税制改正等要望聴取会」に出席、「令和7年度国の予算・制度等に関する要望」を提出して更なる理解と支援を訴えた。



今回の要望聴取会出席者は、梶山龍誠理事長、榎本寛副理事長、坂野正和会計責任者、高橋誠事務局長の4名。

冒頭、平将明政調会長は、「先の衆議院選挙では大変お世話になりました、ありがとうございます。残念ながら厳しい結果となりましたが、社会は動いております。しっかりと政策を前に進め、税制改革も進めてまいります。引き続き、「指導を」と、当政連の第50回衆議院選での支援活動に対して感謝の意を表明。

梶山理事長は、「本日は貴重な機会を設けていただきまして、誠にありがとうございます。先ず、先の衆議院選挙では、東京は苦戦を強いられました。すぐに参議院の選挙がござい

ます。要望説明は高橋事務局長が担当して、品確法の再改正、適切な契約の実現、その他の制度改正について要点を説明。新たな要望項目である「ビルクリーニング分野特定技能2号評価試験について」では、「本年5月、8月の試験結果は、合格者が3人ずつとかなり厳しく、人手不足対策になり得ておりません。専門的な内容を問う日本語の問題文が難解だ」という声も聞かれます。つきましては、実効性のある試験とするよう見直しを要望いたします」と訴えた。

このあと、エコチューニング分野特定技能2号評価試験、短時間労働者の社会保障適用拡大などについて質疑応答、都連から具体的な対応の表明もあった。



ざいます。一層、支援活動を強化してまいりたいと存じますので、よろしく願っています」と、支援強化を約束。

梶山龍誠理事長は冒頭挨拶で、台風の影響による記録的な大雨の被害や、候補者乱立の自民党総裁選に言及したあと、「衆議院解散総選挙も予想されますので、本日の協議事項として『衆議院議員選挙対応』を皆様にお諮りいたします」と予告。

審議事項の令和7年度国の予算・制度等に関する要望については、横田英雄幹事長が令和6年度の要望と比較しながら提案説明を行った。

大項目「1 品確法の再改正について」は、「昨年とほぼ同様の継続要望。大項目「2 適切な契約の実現について」の「(1)適正価格による契約について」では、「昨

年11月の内閣官房と公正取引委員会の連名で示された指針や、昨年8月の総務省からの通知を根拠資料としました。変更をなかなか認めていただけなこと、またPFI事業や指定管理者制度の例を出し、標準契約書における長期継続契約でのスライド条項適用や運用基準の策定等を要望」、「(2)厚生労働省による調査と公表の継続について」では「令和5年度に実施した委託事業についての迅速な対応を要望」、「(3)エコチューニング認定制度の促進について」は「継続要望」、「(4)全省庁統一資格付与点数表の見直しについて」では「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用への取り組みを好機と考え、見直しを要望」と説明。大項目

「3 その他の制度改正」の「(1)短時間労働者の社会保障適用拡大について」では「年収の壁の金額の引き上げや補助金制度の手続きの簡素化を要望」、「(2)障害者雇用への支援策について」は「継続要望」、「(3)ビルクリーニング分野特定技能2号評価試験について」は新たな要望項目です。実効性のある評価試験とするよう見直しを要望いたします」と提案。

第138回理事会

令和7年度 国の予算・制度等に関する要望を承認

東京ビル政連は9月3日、ビルメンテナンス会館において第138回理事会を開催し、「令和7年度国の予算・制度等に関する要望」について審議した。

梶山龍誠理事長は冒頭挨拶で、台風の影響による記録的な大雨の被害や、候補者乱立の自民党総裁選に言及したあと、「衆議院解散総選挙も予想されますので、本日の協議事項として『衆議院議員選挙対応』を皆様にお諮りいたします」と予告。

審議事項の令和7年度国の予算・制度等に関する要望については、横田英雄幹事長が令和6年度の要望と比較しながら提案説明を行った。

大項目「1 品確法の再改正について」は、「昨年とほぼ同様の継続要望。大項目「2 適切な契約の実現について」の「(1)適正価格による契約について」では、「昨



接抄を述べる梶山理事長

議長を務めた榎本副理事長

報告事項は7つあり、初めに「令和6年上半期の収支」について坂野正和会計責任者が収入総額2639万円、支出306万円などを説明、大村清保監事が「当政治連盟の

「3 その他の制度改正」の「(1)短時間労働者の社会保障適用拡大について」では「年収の壁の金額の引き上げや補助金制度の手続きの簡素化を要望」、「(2)障害者雇用への支援策について」は「継続要望」、「(3)ビルクリーニング分野特定技能2号評価試験について」は新たな要望項目です。実効性のある評価試験とするよう見直しを要望いたします」と提案。

議長を務めた榎本副理事長が意図や質問を求めたのち採決に移り、議案は全会一致で承認された。

報告事項は7つあり、初めに「令和6年上半期の収支」について坂野正和会計責任者が収入総額2639万円、支出306万円などを説明、大村清保監事が「当政治連盟の

協議事項の「第50回衆議院議員選挙対応」は、従来の対応や前回の対応実績をもとに、今回の対応(案)を横田幹事長が提案。協議の結果衆議院解散総選挙が実施された場合、提案通りに対応することが承認された。

梶山龍誠理事長は冒頭挨拶で、台風の影響による記録的な大雨の被害や、候補者乱立の自民党総裁選に言及したあと、「衆議院解散総選挙も予想されますので、本日の協議事項として『衆議院議員選挙対応』を皆様にお諮りいたします」と予告。

提案説明を行う横田幹事長

収支説明を行う坂野計責任者

監査の結果を報告する大村監事